

# 議会だより

伊那市議会事務局  
TEL 0265-98149  
FAX 0265-769117  
E-mail: gk@inacity.jp

Vol. 53

伊那市議会3月定例会では33議案と請願・陳情3件・委員提出議案1件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案を紹介いたします。

## 全会致で可決された議案

### (一般案件)

◆市道路線の認定  
(中央病院の進入路へ信号機を設置するための市道認定)

### ◆市道路線の認定

(美簗下県地区における市道認定)

### (条例案件)

◆伊那市組織条例等の一部改正  
(企画部の新設ほか組織改正)

◆伊那市個人情報保護条例等の一部改正  
(関係法律の施行に伴う改正)

◆伊那市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び伊那市職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
(関係法律の施行に伴う改正)

◆伊那市税条例等の一部改正  
(関係法律の施行に伴う改正)

◆伊那市子育て支援センター条例の一部改正  
(西箕輪子育て支援センターの設置及び子育て支援センター使用料の無料化)

◆伊那市老人福祉センター等条例の一部改正  
(老人憩いの家東春近荘、西箕輪荘、西部荘の廃止)

◆伊那市営住宅条例の一部改正  
(高尾町団地の使用に耐えなくなった住宅の廃止)

◆伊那市学校給食共同調理場条例の一部改正  
(伊那中学校・伊那西小学校給食共同調理場の設置)

(人事案件)  
◆人権擁護委員候補者の推薦  
(任期満了に伴う候補者の推薦)

(予算案件)  
◆平成28年度補正予算  
◆一般会計第6回補正予算  
◆国民健康保険特別会計第2回補正予算  
◆国民健康保険直営診療所特別会計第2回補正予算

◆後期高齢者医療特別会計第1回補正予算  
◆介護保険特別会計第3回補正予算  
◆簡易水道事業特別会計第2回補正予算  
◆水道事業会計第3回補正予算  
◆下水道事業会計第2回補正予算  
◆自動車運送事業会計第1回補正予算  
◆一般会計第7回補正予算

◆平成29年度予算  
◆国民健康保険直営診療所特別会計第2回補正予算

◆国民健康保険直営診療所特別会計第2回補正予算

## 平成29年度予算

◆国民健康保険直営診療所特別会計予算  
◆後期高齢者医療特別会計予算  
◆介護保険特別会計予算  
◆市営駐車場事業特別会計予算  
◆水道事業会計予算  
◆下水道事業会計予算  
◆自動車運送事業会計予算

(委員会提出議案)  
◆伊那市議会委員会条例の一部を改正する条例  
(企画部の新設に伴う改正)

◆特別会計条例の一部を改正する条例  
◆積立基金条例の一部を改正する条例



## 賛否の分かれた議案等(審議結果と各議員の賛否一覧)

○…議案、請願・陳情に賛成 ×…反対 ☆…趣旨採択  
なお、原則として議長は採決に加わりません。

区分	件名	委員会結果	白鳥敏明	野口輝雄	丸山徹一郎	八木択真	唐澤千明	唐澤稔	橋爪重利	宮島良夫	竹中則子	中山彰博	平岩國幸	飯島進	若林敏明	飯島光豊	柴満喜夫	前澤啓子	前田久子	柳川広美	飯島尚幸	伊藤泰雄	黒河内浩(議長)	本会議結果
条例案件	◆特別会計条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○		可決
	◆積立基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○		可決
予算案件	◆平成29年度一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○		可決
	◆平成29年度公有財産管理活用事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○		可決
請願・陳情	◆「テロ等準備罪」、いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する請願	不採択	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×		不採択
	◆オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める請願	趣旨採択	☆	☆	☆	☆	☆	☆	×	○	☆	☆	☆	☆	○	○	☆	○	☆	○	☆	☆		趣旨採択
	◆「核なき世界」をめざす核兵器禁止条約への賛成と、核兵器廃絶の平和外交の推進を求める陳情	不採択	×	×	○	○	×	×	☆	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×		不採択

# 3月定例市議会 一般質問から

伊那市議会3月定例会の一般質問は、3月8日、9日、10日の3日間にわたって行われ、19人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



竹中則子

**●平成29年度予算・事業計画について**

**問** 竹中則子議員 過去最大規模335億円の予算に対する市長の熱い思いは。

**答** 市長 ハード・ソフトを含め、あらゆる分野に行き渡るように編成した。農林振興として、道の駅「南アルプスむら長谷」のリニューアルや「みはらしファーム」の環境整備等、人口減少に歯止めをかけ、移住定住者の増加に向けた子育て支援の充実、高齢者をはじめ市民の暮らしをサポートする事業として、J A長野厚生連による「西箕輪診療所」整備への補助、給食施設の整備等が挙げられ

る。

**問** 竹中則子議員 ふるさと納税が今年度70億円を達成の見込みだが、納税寄付者の思いは生きているか。

**答** 市長 これまでやりたくても出来なかった事業、寄付者の気持ちに沿うと思われる事業、伊那市を全国に発信できる事業を中心に活用することに努めた。中でも、第3子以降の保育料無料化や学校へのICT機器の整備等に配慮した。

**●「第3次伊那市男女共同参画計画」の策定について**

**問** 竹中則子議員 「第3次男女共同参画計画」の取り組み内容は。

**答** 市長 女性管理職の登用率10%以上、働きたい・働き

続けたい女性への支援、男性の働き方の見直しによる家事・育児介護への積極的な参画を促す等、重点的に取り組んでいきたい。



白鳥敏明

**●企業誘致施策について**

**問** 白鳥敏明議員 新設の土地取得基金による、今後の工業用地確保の考えは。またJ A上伊那美篤肉牛団地跡地を工業用地としての購入検討を。

**答** 市長 企業の設備投資意欲が高まった時に用地が無いと企業誘致は難しい。海外から国内に回帰する企業も増えており、二定規模の用地確保は重要。小黒原は食品関係、上ノ原は一般製造業の産業団地にしたい。美篤肉牛団地跡地はJ Aと交渉を始めた。

**●伊那西地区の活性化支援施策について**

**問** 白鳥敏明議員 伊那地域自治体の範囲は広すぎるとの地域連携がとれる小学校通学区範囲での再編成の検討を。

**答** 市長 同自治体は大変広く商店街、住宅地、農業地域、商工業地域が混在するため、地域により課題が異なるのは事実。機運が高まれば分割再編の検討が必要である。

**問** 白鳥敏明議員 伊那西地区の活性化には、行政の積極的な支援が必要では。

**答** 市長 地域の活性化への機運の高まりが見られ、地域が主体的に継続的に活動を進めて行く事が望ましい。必要に応じて集落支援員がサポートする。移住定住の推進体制を整え、田舎暮らしモデル地域に指定し、地域と行政が連携し推進して行く事は十分可能である。



飯島尚幸

**●ふるさと納税者への感謝**

**問** 飯島尚幸議員 全国から5万人余の皆さんが、想いを込めて納税して下さい。本当に有難いこと。今度は感謝の心から、伊那市に来ていただく、顔の見える化事業としてイベ

ント等に併せイチゴやトマト、キノコ狩り、高遠や伊那のそば食べ歩きなどを提案する。また来伊の記念に、「伊那市サポーターの証」や相応のグッズを贈呈するなど配慮が必要。

**答** 市長 顔の見える化事業は大変重要なこと。来年度に向け、新たな返礼品として伊那市に実際に足を運んでいただき、伊那の良さを感じてもらえるような体験型の観光プランを観光業者とタイアップして検討する。伊那市をサポートして下さる皆さんのリピート率の向上を図っていく。

**●企業版ふるさと納税について**

**問** 飯島尚幸議員 過去に提案し取り組みを要望してきたが、来年度の予算化は嬉しい。長谷鹿嶺高原の森林づくり事業に寄せる企業の思いや意向は。

**答** 市長 企業にとって、社会貢献に真剣な会社とのイメージアップや、社員が森林に親しむ楽しみを創出するなどから商社、電力会社等複数の申し込みがあり、注目度は高い。



柴満喜夫



●平成29年度一般会計当初予算案について

柴満喜夫議員 平成29年度一般会計当初予算案

で、地方創生にどのように取り組んでいくか。

市長 市の地方創生総合戦略により結婚・出産子育て、移住・交流の促進、雇用の創出、地域間連携の推進の4つの基本目標に向かって各事業に取り組んでいる。29年度ではこれらの事業の継続とふるさと納税を活用した新たな取り組みを展開していく。

●高齢者運転対策について

柴満喜夫議員 高齢ドライバーによる痛ましい事故が相次いでいる。高齢者と運転免許、命と生活を守る社会へ向けて免許返納を促す対策が急務であると思われるが、このような状況の中、伊那市としてどのように取り組んでいくのか。

市長 返納者の足の確保として高遠線を除く市内バスが運転経歴証明書の提示で運賃が半額になる。バス、タクシーに利用出来る高齢者いきいき健康券などの福祉施策もしている。今後も運転免許証の自主返納を後押ししていく。

橋爪重利



●産業支援について

橋爪重利議員 商工業支援について、起業する方へのウハウウの支援や一歩踏み出すチャンスを作り、起業後の問題を事前に想定し解決方法も考えておく。問題が出て対処方法を受けているので対応がすばやい。このため事業に専念できる。以上のように、準備が大切と考え「創業スクール」の回数を増やすとか、常に相談できるような人員の配置など支援を。

市長 創業スクールの告知費用が限られており、周知が行き届いていないのが現状。ホームページや市報、商工団体と一緒に取組む。

橋爪重利議員 農業について、昭和30年にリンゴを植栽し、その後多品種化を図りドラ

イフルーツ事業も起業し、桜や藤を植栽した農園を視察した。多品種化により、チケットを購入して少量の果物を収穫でき味わうことは、単品より、重複する事で豊かな気持ちになり、また行こうという発想になる。現在、みはらしファームは、果物と野菜の多品種提供体制が整って来た。チケットを購入して、複数の果物収穫を体験できるファームを目指したらと思うが。

市長 整備計画を作り、「交流体験の家やってみらっし」がオープンしたことにより、もの作り、手作り体験のメニューが充実し、団体受け入れが可能になった。羽広農業公園管理組合などで検討し、導入出来るのであれば実行したい。

若林敏明



●子育て・人が人を育てるということ

若林敏明議員 子どもは未来への投資、第三子無料化は評価するが、この際第二子からにしては、また、子育てを担う保育士は6割が臨時職員である。更なる処

遇改善を。子育てママの支援も。

市長 今回の改正で県下有数の軽減率となった。第二子からは無理だが来年度利用料金体系を見直す。クラス担任には正規か嘱託保育士を充てる。担任手当も上げている。

●施策方針とその横断的推進母体

若林敏明議員 先進地で注目すべきは、縦割りではなく横断的な推進組織を活かしている点である。果たして伊那市は、東京事務所の結果と派遣終了後の対応は。

市長 庁内プロジェクトが機能している。今回企画部を創設し更に強化した。昨年設置した東京事務所は国や大学、企業などの情報収集や人脈作りによる大きな成果を挙げている。ジオパークネットワークへの派遣終了後は、在京の伊那市ゆかりの皆さんの協力を得ながら推進していきたい。

唐澤稔



●ふるさと納税について

唐澤稔議員 現在の取り組みについての思いは。

市長 返礼品は市内の業者が基本であり、需要が拡大する事で経済効果をもたらし、地方創生にも寄与している。市内では弱電製品が昔から盛んであり、部品を数多く使っている電気製品を、市内の電気店で作る組合を通して扱いをお願いしている。

唐澤稔議員 返礼品に目玉的なものは。

市長 魅力ある返礼品として、160品目を取り揃えている。時期によっては、松茸等の特産品も扱っている。伊那市に足を運んで農業体験できる事も考えている。

唐澤稔議員 返礼品に対する総務省の指導はあるか。またスポーツ施設を充実させる考えはあるか。

市長 総務大臣から、返礼品に不適切な例が見られ、是正策を検討する考えが表明されたが、伊那市では明確な方針や目的を持って取り組んでおり、現段階では国からの指導はなく、基本的な考えを変える時期ではない。10年後の長野国体を見据えながら、競技の向上を計るためにふるさと納税を活用していく。平成29年度の

事業として、クロスカントリーコースの整備や冬季に練習が出来る屋内練習場の整備を計画している。

### 平岩 國幸



#### ● 高齢者の運転免許証の自主返納と足の確保について

**問** 平岩國幸議員 高齢者の運転による交通事故が多発していることから、免許証の自主返納が多くなっている。高齢者の買い物の足の確保をどのように考えるか。

**答** 市長 伊那市社会福祉協議会が中心となり立ち上げた買い物支援地域づくりネットワーク会議で研究している。

**問** 平岩國幸議員 ①各集落への移動販売車の計画はできないか。②伊那市内に出張販売事業を行う企業が有れば良いと思うが、市長はどの様に考えるか。

**答** 市長 ①市が特定の業者と提携し、移動販売をすることは考えていない。宅配や移動販売を行っている業者もある。

研究を継続し各地域にあった対策に繋げる。②市全域で食材の配達を行っている事業者や、スーパー、個人商店等が移動販売や希望がある地域に宅配をしている。こうした事業者と意見交換し課題解決につなげたい。

#### ● 国道361号の土砂崩落と今後の安全対策について

**問** 平岩國幸議員 今回の土砂崩落による人身事故のなかった事は幸いであったが、今後の恒久的な安全対策が必要と考えるがどのように考えるか。

**答** 市長 県の早い対応に感謝している。地域にとつて重要な路線であり、恒久的な対策としては、トンネル化が最適と考える。大規模事業となり、早期の実現は困難と考えるが、実現に向け地元を挙げて県に強く要望していきたい。



### 前澤 啓子

#### ● 均一料金の公共交通がどうしても必要

**問** 前澤啓子議員 3市町村縦断バスに乗って、南箕輪や箕輪町まで行き、乗り継ぎで200円引きになれば、南箕輪や箕輪の温泉に行つたほうが安い。伊那市のバスも距離に関係なく均一料金にすべき。

**答** 市長 定住自立圏の縦断路線実証実験で、既存路線のあり方も含めて検証検討する。

**問** 前澤啓子議員 伊那北駅から中央病院経由みはらしの湯行きピストン輸送便を作つてほしい。現在の便はルートが複雑すぎ、時間がかかりすぎる。西箕輪内はジャンボタクシー便で回るようにする。いろいろな提案をしてきたが、市長はできない理由を色々あげている。やる気になればできる。

**答** 市長 西箕輪線は民間路線で簡単ではない。赤字を出したらどうするのか。

**問** 前澤啓子議員 民間の負担は8割交付税措置される。

**答** 総務部長 実証実験を通して既存路線も含め考へる。守り育てる会の研究を尊重し、協議会に諮って検討する。

### 柳川 広美



#### ● 国道153号伊那バイパス、環状北線について

**問** 柳川広美議員 ①伊那バイパス上の原々青島間について、周辺住民から住環境の変化などの不安の声が出ている。誰でも参加でき個々の要望を出せる説明会を。②完成はいつ頃か。③環状北線について今後の予定は。都市計画決定はいつからで、決定まではどれくらいか。完成はいつ頃か。

**答** 市長 ②伊那バイパスは県事業で完成時期は未定。リニアが開通する頃には完成するものと考えている。③環状北線も未定。リニア完成までには要望している。

**問** 建設部長 ①伊那バイパスは随時各地区で説明会を開いて行く。誰でも参加できる説明会はない。地区ごとに要望をまとめて頂き対応。③環状北線予備設計は平成29年度中に示される。都市計画決定は平成29

年度の予定で約1年かかる。

**問** 柳川広美議員 商工業者の後継者対策の充実を。

**答** 市長 伊那市創業支援連絡会議を中心に取り組んでいる。商工会議所等に参加していない方も相談に乗っている。誰でも無料で相談できる長野県事業引継ぎ支援センターについても広報していく。

**問** センターテニスコート、県営球場周辺の交通安全対策について

**問** 柳川広美議員 テニスコートと野球場周辺に歩道設置して交通安全対策を。50mプールを廃止して駐車場確保を。

**答** 市長 歩道設置は難しい。プールは駐車場に転換をする。歩道の安全対策は関係者と協議していく。



### 唐澤 千明

#### ● 大萱市営住宅建替えの見通しについて

**問** 唐澤千明議員 大萱市営住宅建替えは市単独でなく県と共同で建てるか聞いている



が見通しは。

**答** 市長 現在の財政状況で市単独で大萱、若宮二つの団地を建替えるのは難しい。大萱は県営住宅と隣接し、ともに老朽化していることから共同建替え事業の協議を行っている。

**問** 唐澤千明議員 来年度から空いている棟の解体を希望するが考えを。

**答** 市長 入居者の集約を図りながら、計画的に空き棟から解体をしていきたい。

**問** 唐澤千明議員 中層住宅に建替えとなると広い土地が残るが残地の有効活用は。

**答** 市長 伊那インターに近く利便性が高い。宅地、民間研究施設など有効活用したい。

● 生ごみ排出削減に向けた取り組みについて

**問** 唐澤千明議員 生ごみの減量化に向けて処理容器や処理機購入に補助をしているが、排出削減に向けた取り組みは。

**答** 市長 生ごみは80%が水分といわれ、家庭での処理は生ごみ処理経費の削減に有効である。処理機の新規購入、買い替えの補助を今後も継続する。さらなる生ごみの削減に向けて、買

過ぎ、作り過ぎをしない啓発にも取り組んでいく。



八木 振真

● 伊那市観光株の経営方針見直しを

**問** 八木 振真議員 「27年度決算は黒字になった」との報道があったが、24年度から来年度予算の合計で設備更新等に2億円以上の市費を投じており、決算書に盛り込まれていない。民間なら粉飾決算である。

**答** 市長 市民の福利厚生的一面があり、民間感覚だけでは判断できない。

**問** 八木 振真議員 経営状況を市民にオープンにして議論すべき時期。市の予算を投じている中で社長が市長であることも問題。市の財政上の問題で保育園等の存廃が議論となる中、なぜ伊那市観光(株)だけが聖域となっているのか疑問である。

**答** 市長 私が社長である理由はない。各施設は市民の憩いの場で、存廃について軽々な判断はできない。

● 中村家住宅活用は民間目線で慎重に

**問** 八木 振真議員 民間運営の観光拠点施設となる構想だが、運営者が未定なのに、8月に改修着工、来年4月オープンは無理がある。黒字施設を目指すのか、赤字でもよいのか。

**答** 市長 事業として成り立つとの考えである。

**問** 八木 振真議員 この進め方ではビジネスとして成り立つわけがない。赤字になったら将来的に市の予算からお金が投入される。その際のランニングコストは試算しているのか。

**答** 市長 まだその段階には至っていない。



前田 久子

● 道の駅構想について

**問** 前田 久子議員 道の駅を伊那バイパスの若宮前原区間へ設置を。道の駅は農林業、観光、福祉、防災、文化等地域の個性、魅力を生かし、道路利用者の休憩機能、情報発信機能、地域振

興施設が一体となったもので、地域活性化の役割を果たす重要な施設。地元集客、周辺地域から豊富な農産物の集積、景観、井月を始めとする文化歴史、竜東地域には無い防災拠点を併設すれば、道の駅としての条件が整う。この地域への道の駅設置の考えは。

**答** 市長 153号バイパス沿線での設置を考えたい。候補地の選定には市街地からの利便性、観光地へのアクセス、景観、地元産品の販売組織、地元協力等が必要。今後伊那地域の活性化となるような優れた企画を検討し、国土交通省の支援が受けられる、「重点道の駅」として選定されるよう、検討を進めていきたい。

● 学習支援「未来塾」について

**問** 前田 久子議員 未来塾の現状と土曜日の実施についての要望があるが考えは。

**答** 教育長 各中学校で放課後2回ほど数学、英語の支援を行い、成果が出ている。土曜日の未来塾実施は、職員の負担を考え、積極的に進めることは考えていない。

宮島 良夫



● 自然エネルギー活用について

**問** 宮島 良夫議員 市長は今年から森林資源を生かした自然エネルギーに力を入れたいと決意を述べられている。そこで、伊那市の森林を生かしたバイオマス発電をするべきと提案する。バイオマス発電をすることで清掃センターに持ち込まれる樹木や剪定枝・刈草等、年間約400tのごみが削減される。

**答** 市長 「伊那から減らそうCO2」を合言葉に、できることから二酸化炭素の排出を抑制していきたいと考えている。ペレット・薪・小水力の普及促進に加え、バイオマス発電の導入についても調査研究してみたい。

● 障害者の地域自立に向けた支援の拡充について

**問** 宮島 良夫議員 全ての障害者が地域で共に生きる地域づくりを進めるために、生活保障、自立支援、雇用促進を進めるために伊那市はどのような取り組みをしているのか。

**答** 市長 市障害者計画、第  
四期市障害福祉計画に基  
づいて各種施策を実施している。

伊那養護学校PTAなどの懇談  
会を毎年行い、要望、意見を聞き、  
施策に反映している。障害者差別  
解消法の施行に伴う周知、職員の  
対応要綱の制定も行っている。



中山 彰博

● 企業誘致について

**問** 中山彰博議員 急速に  
進んだ企業誘致。どのよう  
に考えるか。

**答** 市長 土地の品揃えがあ  
り、要望に的確に答えられ  
たことが要因。

**問** 中山彰博議員 現在の工  
業団地周辺に区画を拡大  
しては。

**答** 市長 景観も良い工業団  
地周辺は道路、水道、イン  
フラが整っており、総合的に研究  
していく。

● 長谷地域の振興策について

**問** 中山彰博議員 道の駅南  
アルプスむら駐車場整備は、

地元意見集約の上で整備促進を。

**答** 市長 観光客は年間約16  
万人で、駐車場整備で大型  
バスが乗り入れ可能となる。周辺  
地域の活性化も検討する。

**問** 中山彰博議員 国道15  
2号と分杭峠、中沢峠の通  
年通行へ改良促進を。

**答** 市長 両期成同盟会等と  
連携し、機会をとらえて要  
望活動を行っていく。

**問** ● 塩見小屋と登山道・  
市道三峰川線併用林道  
通行止めについて

**問** 中山彰博議員 塩見新道塩  
見小屋の利用実績と評判は。

**答** 市長 新道を改修し短時  
間でも登れるようになり、塩  
見小屋の利用も2549人で、評  
判も良かった。

**問** 中山彰博議員 市道三  
峰川併用林道の早期通行  
止め解除を。

**答** 市長 開通時期には至ってい  
ないが、丸山谷砂防堰堤工事  
関連で三峰川上流域事業連絡会にお  
いて安全対策を議論検討中である。

飯島 進



● 国道361号の  
諸問題について

**問** 飯島進議員 国道361  
号岐阜県側の難所に大型  
バス通行可能な「上ヶ洞トンネル」  
が開通する。広域観光の観点から  
もビッグチャンスと思うが。

**答** 市長 飛騨高山、木曾、伊  
那を結ぶ大きな観光ル  
トになる。来年度は周遊マップを  
作成しPRする。3地域が連携  
し、「観光は広域で」の考えで取り  
組みを強力に推進していく。

**問** 飯島進議員 土砂崩落  
事故のあった鉾持棧道の抜  
本的、恒久的な安全対策を。

**答** 市長 県が落石防止につ  
いて詳細な調査を行う。一  
番良いのはトンネル化ということ  
になる。関係機関と調整し、実現  
を要望していきたい。

**問** 飯島進議員 通行止めの  
約2か月で高遠町商店街  
及び沿線の商店の景気が冷え込  
んだ。景気刺激策として地域限定  
のプレミアム付き商品券発行など

**答** 市長 影響があったと推察  
している。地域限定のプレミ  
アム付き商品券の発行は今のところ  
考えていない。高遠町で買い物する  
よう市内でも呼びかけていきたい。

**問** ● 子どもの貧困への  
支援について

**問** 飯島光豊議員 ①就学  
援助費増額を求めてきた  
が新年度予算は。②新入学用品  
費の入学式前支給はできないか。

**答** 教育長 ①給食費を実費  
の67%から80%に上乘せし  
た。新入学用品費等は増額した。  
②入学式前の支給は、他市では実  
施済が1市、新年度からが6市あ  
り研究したい。

景気刺激策は。

**答** 市長 影響があったと推察  
している。地域限定のプレミ  
アム付き商品券の発行は今のところ  
考えていない。高遠町で買い物する  
よう市内でも呼びかけていきたい。

**問** ● 伊那市の小規模保育園の  
存続について

**問** 飯島光豊議員 ①すでに  
平成22年の市保育園整備  
計画の基準には、保育園定員が  
50%以下又は30人以下になれば  
休園、さらに5年で廃園とある。担  
当課は明文化の経緯は不明と言

**答** 市長 ①基礎見直しを行  
うがどうか。②市民から基準の見  
直しを求める声強いが。③新山  
保育園は休園から再開したが、市  
担当者は今後定員50%割れにな  
れば即廃園と言うがそのような基  
準はあるか。④西部保育園関係者  
や市議会などから一校一園を求  
める声強いが。

**問** ● 史跡高遠城跡の保存・  
活用について

**問** 丸山敞二郎議員 史跡高  
遠城跡に関して、文化庁の  
管理団体指定の申請を。

**答** 市長 指定には全所有者  
の同意が必要。所有者に丁

**問** 保健福祉部長 ①平成  
23年の市保育園整備計画  
に定められた基準である。

**問** 丸山敞二郎議員 史跡高  
遠城跡に関して、文化庁の  
管理団体指定の申請を。

**答** 市長 指定には全所有者  
の同意が必要。所有者に丁

**問** 丸山敞二郎議員 史跡高  
遠城跡に関して、文化庁の  
管理団体指定の申請を。

**答** 市長 指定には全所有者  
の同意が必要。所有者に丁



寧に説明し、管理団体指定申請に持っていきたい。

**問** 丸山 徹一郎議員 本丸にある太鼓楼は立ち入り禁止になっているが、今後の対策は。

**答** 市長 高遠城址公園のシンボルの建物として愛されている。屋根瓦を軽くするなど補修を行い、保存管理できるように検討したい。

●伊那市の農業について

**問** 丸山 徹一郎議員 機械化、集約化の難しい中山間の農業振興策は。

**答** 市長 後継者確保が第一。農業生産法人の設立、新規就農者確保を推進している。

**問** 丸山 徹一郎議員 元気な高齢者の新規就農への技術指導などの支援を。

**答** 市長 高齢者は大切な担い手と考える。就農希望者は窓口（農政課）で相談してほしい。また、年5回の新規就農者相談会を開催している。JA上伊那での支援、無利子融資の制度もある。

**問** 丸山 徹一郎議員 遊休農地を活用して、市民農園を開設し、「自作自消」を進めては。

**答** 市長 遊休農地を使って、JAが7か所、151区画の「ふれあい農園」を開設してい

る。活用率は70%程で空きがある。遊休農地と耕作希望者とを結び付けていきたい。



野口 輝雄

●中央アルプス西山山麓の自然を生かした開発と今後の運営について

**問** 野口 輝雄議員 中央アルプス西山山麓の、長期計画による自然を生かした開発が必要。経ヶ岳植物園とその周辺の今後の開発・管理には、きちんとした予算付けと市主導の体制が必要。

**答** 市長 マウンテンバイクのコース設定を起爆剤として、今後西山山麓の開発を水平垂直展開を含めて、到達できる課題として盛り込んでいく。植物園については、西山山麓開発と一体的に考えたい。マウンテンバイクスタッフを運営組織に入れれば、市として一緒に運営できる。

●これからの子育て支援のあり方について

**問** 野口 輝雄議員 ①これらの市としての子育て支

援のあり方の基本は。②人口増対策が必要では。③伊那西部保育園の存続問題については、安易に移住定住できない地域性を考慮して温かい対応してほしい。

**答** 市長 ①未満児枠の拡大や保育士の確保を行う。負担軽減のための経済的な支援などで子育てしやすい地域づくりをする。②定住促進補助金や田舎ぐらしモデル地域の指定などの支援を行うとともに、伊那市の魅力や暮らしを紹介した動画などで情報発信している。③伊那西部保育園については、地域の皆さんの活動が前提であり、市は必要な支援を行うが、地域の特殊性にも考慮する。



お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、本会議で採決します。

次回6月定例会審査の受理期限は、5月26日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

傍聴にお越しく下さい

3月定例会市議会は、53人の方が傍聴されました。市議会は、どなたでも傍聴できます。お気軽に傍聴にお越しく下さい。

なお、団体で傍聴される場合は席に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。再放送も行っていますので是非ご覧ください。チャンネルは次のとおり。

デジタル 11 チャンネル

STB(デジタルチューナー)でご覧になる場合は

デジタル C 511 チャンネル

次回6月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」6月号をご覧ください。

公式フェイスブック

伊那市議会では、公式フェイスブックを開設しています。最新の情報を掲載していますので是非ご覧ください。

http://www.facebook.com/inashigikai



黒河内 浩 議長



# 伊那市議会 平成28年度の政務活動報告

## 平成28年度の政務活動費の概算と、その使途について報告します。

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会の会派に対して交付されるもので、伊那市では条例に基づき、会派の所属議員数に年額12万円を乗じた金額が交付されます。各会派の経理責任者は、毎年度、政務活動費の収支の状況を議長に報告し、残金がある場合は市に返還しています。収支報告書と領収書は、議会事務局(市役所2階)で申請により閲覧することができます。

(単位 円)

会派(人数)	活動費総額 (12万円×人数)	支出額の内訳				残金 (返還額)
		調査研究費 (視察研修)	研 修 費	広 報 費	要請・陳情 活動費	
新 政 ク ラ ブ (6人)	720,000	600,680				119,320
平 成 ク ラ ブ (4人)	480,000	443,141				36,859
政 和 会 (4人)	480,000	311,516	110,000			58,484
日 本 共 産 党 (3人)	360,000		82,000	278,000		0
公 明 党 (2人)	240,000	212,362				27,638
市 民 ネ ッ ト (2人)	240,000	212,363				27,637

### 新政クラブ

竹中則子、唐澤千明、野口輝雄、  
黒河内浩、飯島進、白鳥敏明

7月下旬に青森県弘前市と平川市の行政視察を行いました。

弘前市では、弘前公園のソメイヨシノの管理体制とその方法について、また、市議会の議会議事改革について視察しました。

弘前公園の桜の管理については、弘前公園の桜の木の現場を見せていただきながら、今後の高遠城址公園の桜の管理に応用できる手法などの知見も得る事ができました。



平川市役所にて研修

平川市では、中学生の国内派遣事業と「平成の寺子屋」事業について視察しました。

鹿児島県の知覧町との派遣事業

業も25年目となり、地域のリーダーの育成にもつながっている反面、家庭の負担金が多い事や応募家庭の減少などの問題が出てきている現状を知りました。  
今後伊那市が児童・生徒の派遣事業を行う場合のやり方等を知る事ができました。

### 平成クラブ

中山彰博、橋爪重利、  
丸山敏郎、平岩國幸

1月30日から3日間、京都府綾部市、広島県三次市の平田觀光農園、島根県美郷町の視察を行いました。



全国水源の里シンポジウムのポスター

京都府綾部市は過疎高齢化で存続が危ぶまれ、戸数も少ない上流の集落を『水源の里』と位置づけ、都市住民をボランティアとして呼び込み、地域産業の開発・育成、地域の暮らしの向上に取り組んでいます。

『平田觀光農園』は12haの広大

な敷地に、イチゴ・リンゴ・梨などなど13種類の果樹を栽培し、1年を通して果物狩りが楽しめます。また、アウトドア体験もできます。年間17万人の来客があるそうです。

島根県美郷町は長年悩まされていたイノシシを『山くじら』として商品化しています。女性グループによるイノシシの革製品の製作も行い販売しています。

### 政和会

柴満喜夫、唐澤稔、  
若林敏明、八木沢真

商店の閉店、若年人口減少など衰退著しい中心市街地の再生をテーマに視察とまちづくり研修会を開催しました。

11月16日から3日間、山梨、静岡の6都市8か所を視察。富士吉田市では旧飲み屋街や倉庫が、レトロでお洒落な店や簡易宿泊所に生まれ変わっていました。

小山町では移住定住策と婚活支援を組み合わせています。三島市では荒廃した水源地を市民と行政の協働で再生させた手法(ブランドワーク)を研修。

熱海市では静岡県のNPO支援拠点を学ぶ。

伊豆市では修善寺の清掃活動



がまちづくり事業に成長。異業種で相互に協働できる個人事業者を募集し、町中居住型の定住に成功させた事例を視察しました。

2月28日には伊豆からNPO サプライズ代表飯倉清太氏を伊那に招き、多くの若者や店主と共に学びました。氏は願いを叶えるには①まずやってみる②失敗を力に③人に教える④実績を積む⑤評論家でなく自分事に、と指摘されました。



まちづくり研修会風景

### 日本共産党 前澤啓子、飯島光豊、柳川広美

日本共産党伊那市議団は、平成28年度に支給された36万円を活用して、広報費で「議員団だより」を発行し、研修費として議員が

研修会に参加いたしました。

「議員団だより」の発行は、全市の年2回約2万枚、また新聞折り込みなどで市民の皆さんにお届けいたしました。



議会団だより(11月号と2月号)

研修会は、飯島光豊議員が地方議会総合研究所のセミナーに、前澤啓子議員が多摩住民自治研究所の講座に、柳川広美議員は地方議員研究会の講座に、それぞれ各自参加しました。その後の議会活動に活かしました。

### 公明党 飯島尚幸、前田久子

党派・市民ネットと合同で熊本市、岡山県真庭市を中心に視察いたしました。(10月31日～11月2日)

熊本市は4月の大地震災害発生から国・県・市の強力な連携のもと、復旧・復興へ全力を挙げています。この取り組みに相呼応する議会、議員の対応について、今回は熊本市議会公明党から各種の資料提供、詳細な説明をいただき理解を深めました。なかでも全議員(48人)で構成する「熊本地震からの復旧・復興に関する調査特別委員会」の活動は、常に現場第一の発想で実態分析、政策提言など徹底した市民の目線に立った激闘の姿には強く心打たれました。

真庭市は、市の8割を占める森林を活かし、バイオマス活用、林業再生のまちづくりを強力に進めています。バイオマス集積基地や同発電所の稼働状況など、木を使い切る真庭市の躍動する心意気を実感しました。



バイオマス発電所

### 市民ネット 伊藤泰雄、宮島良夫

10月31日に熊本市、益城町で震災の復興状況、震災時の議員の行動について視察しました。7か月経過しているにもかかわらず益城町は倒壊した住宅が片づけられておらず、熊本地震の大きさを実感しました。



熊本城の崩れた城壁

また、熊本市議会議員の震災時の行動についてもお話を聞くことができました。熊本市では120年間地震がなかったため「安全宣言」が出されており、議員の震災マニュアルがなく議員のいる地域とない地域の格差が出たため、災害発生時の対応マニュアルを作る必要があるとのことです。

翌日は真庭市のバイオマス発電について視察しました。伊那市でも自然エネルギーを利用したキックオフ事業に取り組んでいることから、今後伊那市に対して提言していきたいと思っております。

平成28年度も17自治体の議会が視察に来伊されました。

#### 移住定住促進プログラム

北海道小清水町議会・滋賀県甲賀市議会・岐阜県瑞浪市議会・広島県廿日市市議会・愛媛県西予市議会・新潟県加茂市議会

#### 幼保小連携プログラム

兵庫県赤穂市議会・埼玉県深谷市議会

#### デマンドタクシー・地域交通

兵庫県赤穂市議会・愛知県東郷町議会

#### 農家民泊による教育旅行誘致

広島県廿日市市議会・山形県上山市議会

#### 議会からの政策提言の充実

愛知県愛西市議会・長野県東御市議会

#### 有害鳥獣対策

長野県辰野町議会

#### 下水道事業の取り組み

茨城県かすみがうら市議会

#### ICT教育

群馬県千代田町議会

#### 子育て支援策

香川県三豊市議会

#### 地域総合型スポーツクラブの運営

長野県千曲市議会  
※市内で宿泊や食事をしていただくよう、ご案内しております。